

2019年5月10日
日本板硝子株式会社

2019年3月期 通期連結決算報告 (2018年4月1日～2019年3月31日)

- 2019年3月期は、営業利益6期連続増益。最終利益も大幅増益
- 2020年3月期はVA化によるミックス改善が寄与するが、営業利益・最終利益ともに減益
- MTPフェーズ2の方向性に変更なし。「Shift to “VA + Growth”」の重点施策実行により、事業構造の変革を進める

2019年3月期は、営業利益6期連続増益。最終利益も大幅増益

- グループ売上高は、下期に欧州及び北米の自動車市場が軟調となったものの、他の市場が安定的または堅調に推移している状況を反映し、2%増収の6,128億円(前年5,989億円*)
- 無形資産償却前営業利益は、エネルギー関連コストの上昇や南米の通貨安等の影響を受けながらも、3%増収の388億円(前年377億円*)
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、ネット金融費用の削減や持分法による投資利益の改善により、116%増益の133億円(前年:62億円*)

| | 売上高 | | 無形資産償却前営業利益 | |
|-----------|---------|----------|-------------|----------|
| | FY19 | FY18 (*) | FY19 | FY18 (*) |
| 建築用ガラス事業 | 2,473億円 | 2,380億円 | 258億円 | 263億円 |
| 自動車用ガラス事業 | 3,147億円 | 3,114億円 | 151億円 | 142億円 |
| 高機能ガラス事業 | 491億円 | 484億円 | 81億円 | 54億円 |

2020年3月期はVA化によるミックス改善が寄与するが、営業利益・最終利益ともに減益

- 売上高は、VA製品売上の増加により、わずかに増収となる6,200億円
- 市場環境が厳しくなる中、原燃材料コストの上昇を価格転嫁できない状況により、無形資産償却前営業利益は5%減益の370億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は17%減益の110億円を予想


MTPフェーズ2の方向性に変更なし。「Shift to “VA + Growth”」の重点施策実行により、事業構造の変革を進める

- 「事業収益力強化」: VA化加速とたゆまぬ効率化・コスト改善
- 「成長事業の拡大」: 戦略投資の立ち上げ、新製品拡販
- 「新規事業の育成」: ビジネス・イノベーション・センター、R&Dの増強

*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

<2019年3月期通期 連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



| (億円) | 2018年3月期 ^{*1} | 2019年3月期 | 増減 |
|-------------------|------------------------|----------|------|
| 売上高 | 5,989 | 6,128 | 139 |
| 無形資産償却前営業利益 | 377 | 388 | 11 |
| 償却費 ^{*2} | (20) | (19) | 1 |
| 営業利益 | 357 | 369 | 12 |
| 個別開示項目 | (13) | (71) | (58) |
| 金融費用（純額） | (146) | (133) | 13 |
| 持分法による投資損益 | 24 | 62 | 38 |
| 税引前利益 | 222 | 227 | 5 |
| 当期利益 | 79 | 144 | 65 |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 62 | 133 | 71 |
| EBITDA | 636 | 647 | |


*1: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。
*2: ビルキント>買収に伴って発生した無形資産の償却

業績予想に沿った着地、営業利益 6 期連続増益

2019年5月10日 | 2019年3月期通期決算報告

2020年3月期通期業績予想

連結損益計算書



| (億円) | 2019年3月期 実績 | 2020年3月期 見直し | 増減 |
|-------------------|----------------|---------------------|------|
| 売上高 | 6,128 | 6,200 | 72 |
| 無形資産償却前営業利益 | 388 | 370 ^{*2} | (18) |
| 償却費 ^{*1} | (19) | (20) | (1) |
| 営業利益 | 369 | 350 | (19) |
| 個別開示項目 | (71) | (60) | 11 |
| 金融費用（純額） | (133) | (140) ^{*2} | (7) |
| 持分法による投資損益 | 62 | 40 | (22) |
| 税引前利益 | 227 | 190 | (37) |
| 当期利益 | 144 | 120 | (24) |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 133 | 110 | (23) |

*1: ビルキント>買収に伴って発生した無形資産の償却
*2: IFRS第16号「リース」の適用により、営業費用が10億円減少し、金融費用が10億円増加することを
見込んでおります。税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益への影響は軽微です。

原燃材料コストの増加等により減益

2019年5月10日 | 2019年3月期通期決算報告

決算関係問い合わせ先：

● IR部： 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先：

● 広報部： 03-5443-9477